富山連協たより

2019年度活動計画（案）

発行責任者
中村　繁
編集責任者
東　秀雄

Ⅰ　はじめに

ＪＰ労組富山連協退職者の会は結成から5年経過しました。今日までの5年間、会員相互の親睦と交流を深めることと退職者の会の会員拡大に努めてきました。2018年度は新規会員拡大目標を12名に設定して取り組みましたが、5名の新規加入に留まりました。2019年度も引き続き「会員相互の親睦と交流」と「会員の拡大」に取り組むこととします。

ＪＰ労組富山連協退職者の会　第5回定期総会の開催

1、日　時：2019年9月22日（日）13時30分～

2、場　所：富山県民会館

3、協議事項

（1）2018年度活動経過、会計報告、会計監査報告

（2）2019年度活動計画（案）

（3）2019年度予算（案）

ＪＰ労組富山連協退職者の会　会長　中村　繁

Ⅱ　2019年度の活動の基本

（1）未加入者への加入促進については退職者の会が主体的に取り組みます。

退職者（定年退職、一般退職、勧奨退職など）および「協力会員」への加入拡大については現退一体となった入会活動に取り組みます。

（2）会員相互の親睦をはかることを目的とした「親睦旅行」、「新春の集い」を継続開催し、併せて、地方退職者の会と連携して会員への情報提供や組織共済商品の周知と加入促進などの活動を進めていきます。

Ⅲ　2019年度具体的な活動計画

（1）ＪＰ労組退職者の会設立の趣旨に沿って以下のとおり2019年度の具体的な活動を展開します。

ア．会員相互の「親睦と交流」にむけて

親睦旅行（1泊2日）、新春の集いを企画実践します。

（ア）親睦旅行について

2019年10月9日(水)～10日（木）に、秋の高山祭りと小京都飛騨古川を巡る一泊二日のバス旅行を企画・実施します。

（イ）新春の集いについて

2020年2月に開催を予定しています。

イ．会員拡大に対する取り組み

今年度は新規退職者（60歳定年退職者、65歳期間雇用満了者）、協力会員を重点に取り組みます。

（2）「みらい研」の加入の取り組み

退職者にとって年金・医療等の社会保障に対する声を政治の場へ届けるための政治活動が重要であることを会員に理解いただき、「みらい研」への会員の加入率20％を目標とします。

（3）会員への情報提供

北陸地方退職者の会と連携をとりながら年4回の会報を発行します。

（4）富山県退職者連合との連携

富山県退職者連合との連携を強化し、高齢者が抱えている諸課題の前進にむけて積極的にかかわっていくこととします。

（5）各共済等の加入拡大の取り組み

退職者の会会員が加入できるＪＰ共済生協および（株）郵愛の各種商品については、安い掛金で相互扶助精神であることを周知し加入促進をはかることとします。

（6）組織慶弔会計について

昨年開催の第4回全国総会及び本年10月開催の第5回全国総会議案を踏まえ、現在連協で管理している「組織慶弔特別会計」はそのままとしつつ、地方一元的経理とし、慶弔金の支給と事務処理についてはこれまで通りとします。